

# 〈 協会員の皆様へお知らせ 〉



【地域の活動】  
 ◎健康応援団派遣事業への講師派遣  
 健康応援団・生きがい応援団派遣事業とは……市民の健康づくりや、地域での楽しい通いの場づくりを支援することを目的とし、お茶の間サロンや老人会、そのほか地域住民で構成される5人以上の集まりの場に無料で健康応援団

●由布市介護支援専門員協会では、由布市や保健所等から依頼を受け、地域の活動や協議会等に参加していただきます。当協会員であればどなたでもご参加いただけますので、ぜひぜひご検討ください。

協会の取り組みや、活動に参加いただいた方々の実際のご感想をご紹介します！  
 協会員の皆様のこれからのご参加、ご意見お待ちしております！

報酬あり！



# 由布市介護支援専門員協会だより

From Winter To Spring!

第16号

令和6年2月作成  
 令和6年3月発行

## 第3回 全体研修会



令和6年2月17日（土曜日）、14時00分頃のぼのプラザにて、令和5年度第3回の全体研修会を開催しました。  
 今回、研修会のテーマは「対人援助・カスタマーハラスメント」として、一般社団法人大分県公認心理師協会より、井尾香理先生をお招きし、講演をしていただきました。  
 カスタマーハラスメントに対して、組織として取り組むこと、職員への研修の実施、ハラスメントに関する話し合いの場を設けること、風通しの良い関係性の構築も大切なことだと学びました。我々、介護支援専門員は、高齢者、ご家族、サービスマスター、医療機関と多岐に渡り、コミュニケーションを図りながら、より良い関係性を構築していかなければなりません。



多くのストレスを生じることもあり、ストレスに対しても自分自身で「セルフケア」をしていかなければならないこと、ストレスからの回復力を自ら身に付けることレジリエンスを強める考え方も学びました。  
 実際、カスタマーハラスメントを経験した事例を基に、井尾先生からアドバイスをいただくこともできました。  
 日々の業務の中で忘れてしまいたいようなことを今回の研修でまた気付かされたように思います。  
 井尾先生、貴重な講演、ありがとうございました。

生きがい応援団を派遣する事業のことです。  
 講師としての感想  
 ・ 少人数だと机を囲んで質疑応答などし易かった  
 ・ 行政への不満をケアマネにぶつけてこられて受け止める事しかできなかつた  
 ・ 講師を引き受ける事で、説明するにも自分が理解しないと伝わらないため、自身の学びを深めることができた  
 ・ 皆さん温かい方々で助かった  
 【協議会等】  
 ・ 認知症初期集中支援チーム検討委員会  
 ・ 由布市地域ケア推進協議会  
 ・ 介護予防ケアマネジメント検討委員会  
 ・ 介護保険事業計画策定委員会  
 ・ 認知症ケアパス検討委員会  
 →今年度の活動状況の一部です。  
 →依頼の時期は、年度当初や会の開催前等、様々です。  
 ●広報班では、来年度の「協会だより」の在り方について検討しています。今年度は、ホームページにもアップしながら、紙ベースの良さを残しつつ発信してきます。  
 来年度に向けて、皆様のお声をいただき、より良いものにしていききたいと思います。  
 ご意見お待ちしております。



### お問い合わせ

〒879-5434 大分県由布市庄内町庄内原 838 番地 8 小規模多機能型居宅介護 玲音内:秋吉  
 TEL : 097-582-2121 FAX : 097-582-3848 MAIL : yufucity.cm@gmail.com  
 ホームページ : <http://yufucitycm.wixsite.com/45000>

由布市介護支援専門員協会広報部発行

◎編集 高村 日奈美  
 TEL : 080-2722-7956  
 MAIL : waterwoozs@gmail.com

## NEWS!!

### LINE 公式アカウントが登場！

由布市介護支援専門員協会の LINE 公式アカウントが出来ました。是非、友だち追加をお願いします！

右の QR コードから登録画面に移動出来ます。もし上手くいかない場合には、お手数ですが友だち検索画面にて、右に記載しておりますアカウント ID をご入力ください。

協会からの情報を随時配信していく予定です。どうぞよろしくご依頼致します。確認のため、登録後にコメントかスタンプをお願いします。

〈アカウントID〉  
 @544wlpss



友だち追加はこちらから！

## 介護支援専門員 法定研修のカリキュラム見直し



健康寿命が伸び、地域の高齢者の状況や生活のありようが多様化し、ケアマネジメントにおいて取り扱う社会資源の範囲がより広がっている。介護支援専門員にはこれまで以上に幅広く情報を収集・分析し、ケアマネジメントを推進していくことが求められる。同時に、専門職として、たとえ初任段階であっても、利用者が必要とするケアマネジメントを一定以上の水準で提供することも求められる。そこで、利用者の尊厳を保持し、生活の継続を支えるケアマネジメントの実践にあたり、介護支援専門員の先達たちが培ってきた知見

### 「適切なケアマネジメント手法」とは、

今回の見直しにおける大きなポイントは、「適切なケアマネジメントの手法」をすべての研修に位置付けた点です。厚生労働省は、令和2年から「適切なケアマネジメントの手法」の周知を始めており、令和4年度には実践研修を開催するなど、その普及に力を入れてきました。今回のカリキュラム見直しに伴い、令和6年4月以降は全研修に「適切なケアマネジメントの手法」が位置付けられることになりました。

厚生労働省は令和4年、ケアマネジャーの法定研修のカリキュラムとガイドラインについて、見直し案を通知しました。令和5年2月に告示され、カリキュラムの見直しが実施されることとなりました。見直し内容は、令和6年4月以降の研修に反映されます。



日本総研WEBサイト「適切なケアマネジメント手法」に関する事業の成果物一覧  
<https://www.jri.co.jp/service/special/content/1/corner/13/caremanagement/04/>  
 日本総研WEBサイト「適切なケアマネジメント手法」に関する事業の成果物一覧には、「適切なケアマネジメント手法」の手引きや資料、動画がありますので、ぜひご覧ください。

利用者やその家族の生活を支えるうえで解決すべき課題を捉えるため、先入観を持つことなく、網羅的に情報収集し、支援を組み立てるのがケアマネジメントの基本である。一方で、利用者や家族のある状況に共通して、当然必要性を検討しなければならない視点もある。このように、共通的に「漏らしてはいけない視点」については、多職種間で共有し、具体的な支援の必要性を検討したり、ケアを実施してその効果等を検証したりすることが重要である。こうした取り組みにより、ケアマネジメントの水準を一定以上に確保できる。したがって、この手法を介護支援専門員だけのツールとせず、他の職種の方々にも知ってもらい、地域全体で活用していくことが望まれる。  
 (「適切なケアマネジメント手法」の手引きより)



## 外国人労働者数から見る介護業界の「今」

### 「外国人労働者200万人超える」国内の人手不足も影響か

厚生労働省は、令和5年10月末時点の外国人労働者が、前年から22万5950人増加し、過去最高の204万8657人となったと発表しました。対前年増加率は12.4%で、前年の5.5%から6.9ポイント上昇。



国籍別では、ベトナムが最も多く、51万8364人(全体の25.3%)、次いで中国39万7918人(全体の19.4%)、フィリピン22万6846人(全体の11.1%)。在留資格別の対前年増加率は「専門的・技術的分野の在留資格」が24.2%増加で最も大きく、「技能実習」が20.2%が続いています。厚生労働省は「コロナ禍からの経済の回復や国内の人手不足を背景に、外国人労働者の増加率がコロナ前の水準まで戻ってきている」と分析していると発表。

介護業界でも人材不足が深刻な問題となっています。職種別に見ると、訪問介護員は83.5%と最も高く、施設で働く介護職員が69.3%、看護職員が47.2%と発表されています。それに対し、介護職(訪問介護・介護職員)の離職率は14.4%、医療・福祉業界の離職率は15.3%と、他業界と比較してそれほど高くはないようです。



### 職場で出来るストレス発散法

- 目を閉じて何も考えない
- 呼吸に集中しながら深呼吸する
- ストレッチして身体を動かす(手足の力を抜く、背伸びをするなど)
- 席を立って歩き回る
- 飲み物や甘いものを口にする

\* 1時間に数分でいいので小休止するのがおすすめ。短時間でも脳が休まり気持ちがりフレッシュできます。



離職内容の第1位は「職場の人間関係」。介護業界は施設勤務のほか訪問介護など、職場によってさまざまな人間関係があります。指導方法が厳しかったり、業務量の多さから十分なコミュニケーションがとれなかったりと、人間関係で悩む人は多いようです。職場でストレスを感じ、月曜日が憂鬱な人は多いでしょう。そこで、職場でも行える簡単なストレス発散法をご紹介します!



### 介護業界の離職原因

### cyocoっとプレイクタイム

ネットサーフィン中に見つけた川柳をご紹介します!  
 ※介護川柳・ケアマネ川柳のサイトより。

- 息抜きに遠出をすると呼びだされ(昨日まで元気だったのに?なぜ今日?明日じゃ駄目?)
- 50件持てる自信が全くない(今の担当件数でもいっぱいっばいっばいです)
- 年重ね 同年代を支援する(若年性認知症の方の支援時に年齢を聞いてびっくりやら切ないやら)
- 言ってみたい介護保険しか やりません(言えたらスカッとするだろうな)